

横浜の地形から見る地域防災 デジタルファブリケーション

皆さんは、お住まいの地域の地形についてご存知ですか？

このワークショップでは、地形の3Dデータと、3Dプリンターなどのデジタルファブリケーション技術を活用しながら、横浜の地形と地域防災について学びます。

地形や防災を研究する、神奈川大学建築学部 落合 努 (おちあいつとむ) 先生をお招きし、横浜と防災についてお話を伺います。その後、国土地理院のウェブサイトで閲覧・ダウンロードできる地形の3Dデータのご紹介と、3Dプリンターでの出力について学びます。

日時 **2.10** | 土 10:30 - 12:00

対象 地域の皆さま

※マウスによるパソコン操作ができる方

会場 ファブラボみなとみらい(神奈川大学)

参加費 無料

定員 10名

主催 ファブラボみなとみらい(神奈川大学)

協力 神奈川大学 建築学部 落合 努 先生

持ち物 ・インターネットにWi-Fi接続可能なノートパソコン

・ホイール付きのマウス

※3Dデータの閲覧のため、事前に3Dプリンター用のソフトをご自身のパソコンにインストールしていただきます。

(詳細はお申し込み後にメールでお知らせします)

※今回の講座内では、作成した3Dデータの3Dプリントは行いません。3Dプリントをご希望の方は、別途ラボの会員登録と機器講習を受講してください。

参加希望の方はメールにてお申し込みください

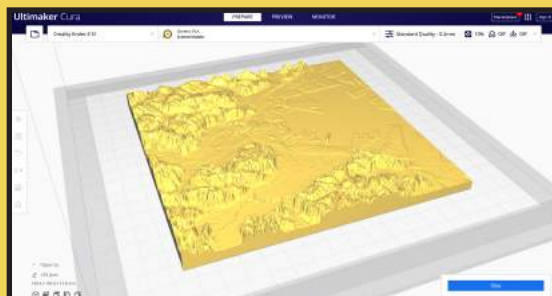
宛先 fablab-minatomirai@kanagawa-u.ac.jp

件名 地域防災ワークショップ参加希望

内容 氏名(ラボ会員の方は会員番号)

こんな方におすすめ

- ・横浜近辺にお住まいの方
- ・地形と災害の関係を深く知りたい方
- ・地図の3Dデータ化や3Dプリントに興味がある方



神奈川県横浜市西区みなとみらい4-5-3
神奈川大学みなとみらいキャンパス1F「LAB」内
fablab-minatomirai@kanagawa-u.ac.jp
※お問い合わせはメールにてお願いいたします。



instagram



facebook



website

開放日
カレンダーは
こちらから